

東北で唯一のクレストフラップゲート 寒河江ダムで開閉点検を公開します。

～ ダム放流設備の確実な作動に向けて ～

寒河江ダムでは、毎年この時期、洪水時の放流等に使用する放流設備の年点検を実施しています。

寒河江ダムには、東北で唯一の施設である「クレストフラップゲート」があり、「異常洪水時防災操作」においても確実に作動するよう以下のとおり点検を公開しますのでお知らせします。

1. 公開日時

令和元年6月26日（水） 9:30～12:00、13:00～15:30

2. 公開内容

クレストフラップゲート開閉点検（3号ゲート、4号ゲート）

3. 見学について

- 開閉点検の様子はダム天端から見学できます。
また、担当者の案内によるフラップゲート下流面から点検の見学（9:30～10:30～13:30～14:30～）も予定しています。
- 案内による見学を希望される方は、案内予定時刻までゲートハウスにお集まり下さい。



4. その他

- 天候や点検状況により点検予定に変更が生じることがあります。
- クレストフラップゲートは、「異常洪水時防災操作」で使用することを目的に設置されたゲートです。今回の点検において実際の放流は行いません。
- 左岸側駐車場からゲートハウスまで600m程度徒歩での移動となります。

＜発表記者會＞ 山形県政記者クラブ

問合せ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所

山形県西村山郡西川町大字砂子関158

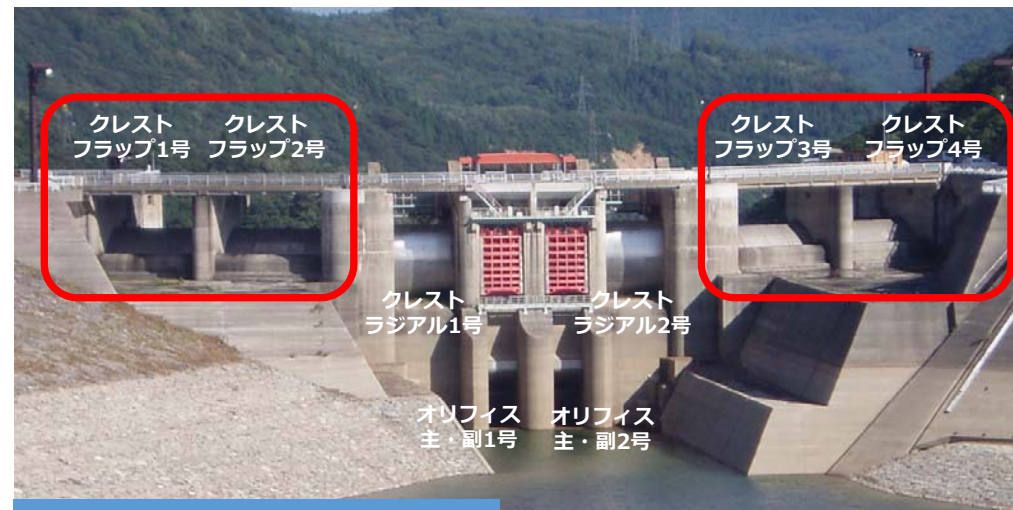
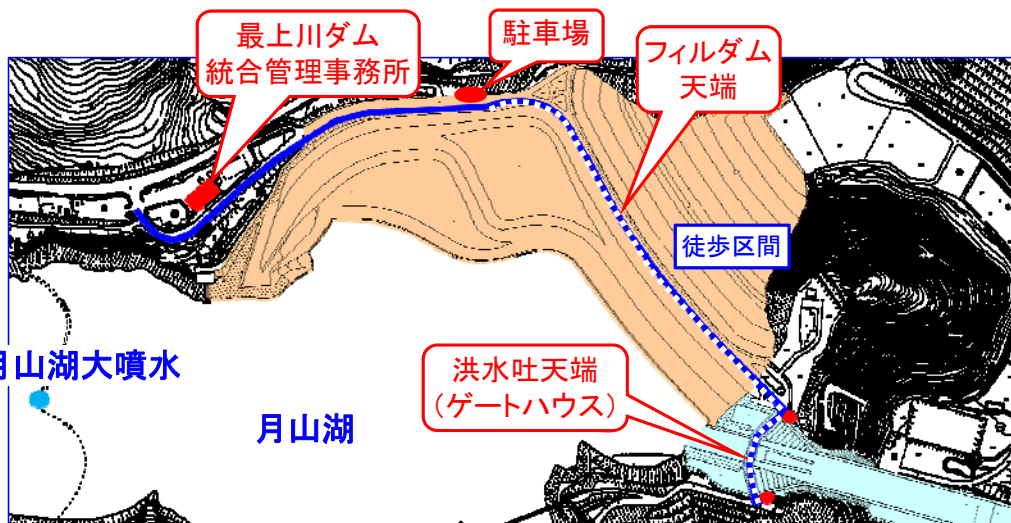
技術副所長 後藤 浩志（内線204）

保全対策官 須田 正浩（内線401）

～ 出水期前の放流設備の点検を公開します ～

◆実施日時 クレストフラップゲート点検
6月26日(水) 9:30～12:00、13:00～15:30
※作業状況等により予定変更の可能性あり

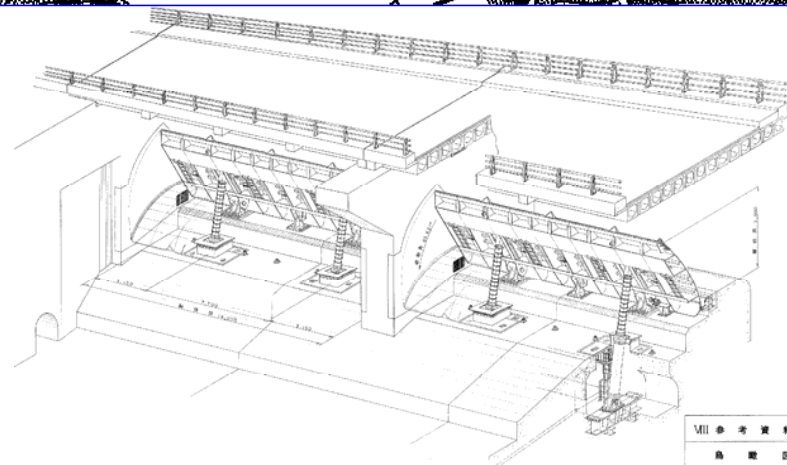
◆目的 放流設備を常に良好な状態に保つために点検・整備を行います。定期点検では可能な限りの実負荷状態において試運転を実施し、動作状況、異常等が発生していないかの確認を行います。なお、実際の放流は行いません。



クレストフラップゲートとは

クレストフラップゲートは、ダムとして国内で初めて採用された油圧シリンダにより起立、倒伏する構造のゲートです。東北では寒河江ダムでしか見られない珍しいゲート構造です。国内のダムにおいて採用されている例はほとんどありません。

ゲートの上部から水が越流する形であるため、ダムの水位を一定にし、またゲートを無動力で倒伏させることができ、洪水時のダムの安全を確保できます。非常用放流設備でありこれまで実際の放流(越流)は行ったことがありません。



ゲート下流側

ゲート：プレートガーダ構造起伏ゲート
14m×3m 4門
開閉装置：背面突上揺動式
油圧シリンダ 2本/門

倒伏時間 約10分
起立時間 約20分
1門あたりの点検時間 約1時間×2回